

現在の担当業務（農業土木）は

水路の入替工事などの現場発注や監督員業務を主に担当しています。自ら設計を行い、地元住民や施工業者、コンサルタントなど知見のある方々の意見を取り入れながら、限られた予算の中で地域の理想形を実現する過程に大きなやりがいを感じています。工事が完了し、現場を見渡したときには、やはり達成感があります。

職場の雰囲気は

分からないことがあれば、多方面からアドバイスが飛んできて、トラブルがあっても笑い合いながら乗り越えられる—そんな、とてもアットホームな職場です。反対に、私が教える場面もあり、年齢に関係なく互いに学び合う雰囲気ができていることが魅力だと思います。

県職員を選んだ理由は

昔から食べるのが好きで、山形県の食に関わる仕事がしたいと思っていたからです。職員として働いてから、県内の美味しい農産物などを紹介する仕事も経験し、さらに山形県を好きになれていると思います。

県職員になって良かったこと、感じたギャップは

ルールに従い淡々と仕事をこなすことが公務員だと思っていましたが、ルールの中でどう工夫できるのかといった、型にとられない考え方が必要になってくる場面が多く、その瞬間に出会ったとき、知見が広がり楽しく感じます。



完成検査



ドローンでの工事現場確認



逸見 翼

置賜総合支庁産業経済部
西置賜農村整備課
(令和5年度採用)

入庁後の経歴

令和5年度 村山総合支庁
北村山農村整備課

令和7年度～ 現職

ある1日の流れ



8:30

業務開始、メールのチェック

9:00

業者との連絡調整

10:00

出張(現場立会)

12:00

休憩 (お昼は家で食べてます)

13:00

現場状況のまとめ 課内での相談

15:30

現場状況を受けた積算書の作成

17:15

業務終了